



農林中央金庫

NORINCHUKIN



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）
を支援しています。

2022年12月21日
農林中央金庫

住友化学株式会社とのサステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）と、住友化学株式会社（代表取締役社長：岩田圭一、以下「住友化学」）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

SLLは、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定し、貸付条件をSPTの達成状況に連動させることで、借り手に対し目標達成に向けた動機付けを促し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長の支援をしていくことを目指すものです。

住友化学は、「事業活動を通じて人類社会の発展に貢献する」を経営理念の一つに掲げており、気候変動問題を社会が直面する喫緊の課題の一つと捉えています。2021年12月には、「2050年カーボンニュートラル実現に向けたグランドデザイン」を策定し、その中で、自社グループのGHG排出量（Scope1+2）を2030年度までに50%削減（2013年度比）、2050年までにカーボンニュートラル（当社グループのGHG排出量ネットゼロ）を目指すこととしております。

当金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみならずともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。また、2021年5月に発表した中長期目標においては、2030年までに10兆円のサステナブル・ファイナンス新規実行額を目標として掲げるなど、サステナブル経営の実践に向けて歩を進めています。当金庫としては、住友化学の経営理念にも共感し、本件ローンによる資金供給を通じて当社の取組みを後押しするとともに、当金庫の基盤となる農林水産業との関連が大きい気候変動問題をはじめとした環境・社会課題の解決に貢献していくことを目指します。

本件ローンでは、住友化学の「2050年カーボンニュートラル実現に向けたグランドデザイン」に基づく目標「2030年度までに自社グループのGHG排出量（Scope1+2）を50%削減（2013年度比）」をSPTに設定いたしました。

なお、本件ローンの契約締結にあたっては、SLL原則等への適合性について、株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しており、上記SPTについては、野心度および有意義性等の観点からSLL原則に適合していると評価されております。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班（宮澤・水元） 03-6362-7172

【本件ローンの概要】

- 実行日： 2022年12月21日
- 融資期間： 10年
- 金額： 200億円
- 資金使途： 長期運転資金

【本件ローンが貢献する主なSDGs】



【参考リンク】

住友化学のサステナビリティについて：

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/sustainability/>

株式会社日本格付研究所による第三者意見：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上